

市民と野党の共闘で 総選挙勝利誓う

長岡市で街頭演説

日本共産党小池書記局長ら



秋の臨時国会での冒頭解散も予想される中、衆院新潟5区補選が全国の注目を集めています。

そうした緊迫した情勢の下、17日、長岡市で市民連合、自由党、社民党の代表も参加し、日本共産党の街頭演説会が行なわれました。

連帯の挨拶に立った市民連合@新潟の磯貝潤子共同代表は、「自民党から出る元知事は結局県民の安全をないがしろにする自民党だ」と指摘し、昨年の2つの選挙の共闘の力をふたたび総選挙で生かそうと訴えたほか、各党の代表

も熱い連帯のエールを述べました。

小池書記局長は、「新潟をはじめ全国で共闘が広がって勝利してきた。自民党はそうした共闘を、血液型の違う人同士の輸血みたいだと言うが、A型の人とB型の人が連帯の握手をしても死んじゃうことはない」と、ユーモアを交えながら共闘の大切さを訴え、その共闘の先頭に立つ決意を改めて表明しました。

また、衆院比例代表予定候補のにしざわ博県政策委員長は、「5区補選の争点は原発の再稼働。自

日本共産党上越市議員団ニュース

No. 564 2017年9月24日

連絡先
橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
橋本 正幸 080-1980-9855 (三和区鴨井)
上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)
平良木 哲也 090-1808-6919 (上中田)

民党の再稼働推進の策謀を許してはならない。福島県民を苦しめている東電にも、運転の資格はない」と強く訴えました。

保育士の処遇改善、国保税の負担軽減を

9月市議会厚生常任委員会での審議(平良木議員)

市議会9月定例会では、昨年度の決算認定のほかに、条例改正や契約案件などの議案が上程され、各委員会で審議されました。

このうち、平良木議員が所属する厚生常任委員会では、一般会計のほか、国民健康保険特別会計などの決算審査が行われました。

平良木議員は、一般会計のうち、生活支援ハウスについてただしました。同ハウスは地域の高齢者の支えになつていますが、冬期だけでも1人暮らしから解放して共同生活ができるような類似の施設についての検討を求めました。

また、児童扶養手当では、支給方法を現在の4か月ごとではなく、もっと短周期にできないかとただしました。これに対して市当局は、「来年度から2か月ごとの支給にできる見込み」と答えました。

保育園の運営では、臨時・非常勤の保育士が多いことを指摘し、改善を求めました。また、併せて保育士の処遇の改善が喫緊の課題であることも指摘しました。この点では、国の保育単価の低いことから、特に私立保

育園の保育士賃金が低く抑えられていることを指摘し、国に改善を求めることと、市としての独自の補助制度の創設を求めました。

国民健康保険特別会計では、収入に占める保険料の割合が所得の低い人ほど重くなっているのではないかとという点や、他の健康保険と比べて負担が重い点を指摘し、保険料の軽減にさらに努力することを求めました。

介護保険特別会計では、要支援1、2の認定者数は、新総合事業を全国に先駆けて導入した平成27年度以降極端に減少しています。この点では、「本来要支援認定されるべき人が新総合事業に導かれて適切な認定をされていないのではないか」と指摘しました。

また、総合事業では、緩和した基準のサービスをおこなっている事業者が、報酬の減少に苦しんでいることを指摘し、事業者との信頼関係を一層築き、実態をしっかりと把握することを求

めました。

後期高齢者医療特別会計では、この制度が年齢で人を差別する制度であるだけでなく、実際に保険料の負担が重くなっている人もいる実態をしっかりと把握するよう求めました。

直江津地区の新保育園建設工事の契約議案では、応札した4つの共同企業体(JV)のうち、1つのJVだけが予定価格内で、その率は99・15%という高率です。そこで、こうした高率の入札の場合は詳しく調査するなど、なんらかの対応をすべきではないかとただしました。

東京都では、こうした高い落札率も監視の対象にしていくとされていますが、市当局は「予定価格内の入札であれば適正な入札であると考え」と答えました。

